

第2回 浅川流域連絡会

議 事 録

平成20年6月18日

東京都 南多摩西部建設事務所

【第2回 浅川流域連絡会】議事録

1 開会

行政委員・事務局

皆様こんにちは。

行政委員及び事務局の代表としまして一言挨拶させていただきます。南西建工事課長でございます。

本日はご多忙の中、『第2回 浅川流域連絡会』にご出席頂き誠にありがとうございます。

この会は昨年度末に『多摩川流域連絡会浅川部会』の運営委員会を発展的に引き継ぎまして、都内で13番目の連絡会として発足しました。

前回は初めてという事で委員の皆様には自己紹介をして頂きました。その中では日頃から川を愛して実際に清掃活動等、何とか浅川水系の環境を良くしたいという思いを皆様からご披露して頂き、誠にありがとうございました。管理する立場としまして本当にありがたく感じております。

この『浅川流域連絡会』が河川管理者、地域の方々或いは環境団体の方々と共同・連携して川づくりを進める。こうした新しい形を発信できる会議になる様に私共も期待している所でございます。

本日は限られた時間ではありますが活発な意見・情報交換をお願いしたいと思います。簡単ではございますが開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

事務局

議事に先立ちまして、事務局から何点かご報告させていただきます。

1点目は本日の委員の出席状況でございますが、18時30分現在で全26人中21人の委員に出席して頂いております。

代理出席の委員を紹介させていただきます、都民委員の代理が1名。行政委員としましては京浜河川事務所。東京都河川部。南西建の管理課長となっております。

もう1点ご報告としまして、組織改正に伴う行政委員の変更があります。八王子市の担当が変更になりました。

行政委員

皆さんこんばんは。八王子市の水行政担当です。

八王子市の場合下水道が 100%に達しまして、川の水質もきれいになってきておりますので、今後は水を増やしていこうという事で新たに水循環室を 4 月 1 日に起ち上げました。浅川の水量及び流域 16 河川の水量を増やしていこうという事で起ち上げましたので、皆様にはお世話になると思います。よろしくをお願いします。

事務局

続いて配付資料の確認をさせていただきます。会議次第に配付資料を記載させていただきましたが、座席表と浅川流域連絡会スケジュール(案)という 3 枚綴りの資料、それと『第 1 回浅川流域連絡会』議事録、これは皆さんのご承諾が得られているので(案)がとれた形の議事録となっております。

郵送でお送りした資料について、お持ちでない方は若干用意しているので申し出て頂きたいと思います。

また、本日の会議については議事録作成のため、発言を録音させて頂いております。予めご了承頂きたいと思います。

この『浅川流域連絡会』については、凡そ 20 時を終了目標としたいと考えております。ご協力をお願いします。

また、人事異動で事務局にも変更があったので連絡させていただきます。

事務局

前任に変わりました。よろしくをお願いします。

事務局

これで、事務局からの連絡事項を終わりますので、議事進行については座長にお願いいたします。

2 議 事

(1)平成 20 年度工事予定箇所概要説明

座長

貴重な時間でありますので、早速会議次第に則り進行していきたいと思っております。

では先ず議題(1)『平成 20 年度工事予定箇所概要説明』。これについては京浜河川事務所から説明してもらってよろしいでしょうか。

行政委員・代理

本来であれば京浜河川事務所の調査課長の方から説明させて頂くところではありますが、代理の私が説明させて頂きます。

- 配付資料：『平成 20 年度 浅川河川工事予定箇所について』の内容説明 -

- ・ が抜けている。申し訳ない。工事箇所は全部で 6 箇所の予定であるので、今後の流域連絡会で修正資料等を配布する事で対応させて頂きたい。
- ・ 資料にも記載しているが現在精査中であり、工事箇所，工事延長等については変更する可能性がある。
- ・ 『地区』という区分けをしてあるが、工事を短期間で終わらせるために更に小分割する事もあり得る。
- ・ 工事内容として、低水護岸工事は常時水が流れている箇所を保護するために行う工事であり、根固めブロックを河床の下に敷きそこから護岸を起ち上げ、高水敷という 10 m 幅の平場にカゴマットを敷設するものである。
- ・ 高水護岸工事は、そこから更に堤防の川表側の法面が洗堀されないような構造にするための工事である。
- ・ 現在は入札等の工事契約の手続きを行っている所であり、詳細が決まり次第改めてご説明させて頂く。

座長

東京都からも今年度の工事予定について説明して頂き、併せて質問等の時間をとりたいと思います。

では、東京都からの説明をお願いします。

行政委員・事務局

- 配付資料：『平成 20 年度 工事予定箇所』の内容説明 -

- ・ 今年度は谷地川，浅川，山入川，湯殿川の 4 河川で 6 箇所の工事箇所を予定している。
- ・ 『谷地川整備工事(その 24)』は八王子市宮下町地内で、図中赤色表記の約 100m の施工延長を予定しており、新しい橋梁を架ける予定である。
- ・ 図中黒色表記の箇所は平成 19 年度の施工箇所であるが、現在も繰越し工事として施工が続いており、6 月中には完成させる予定である。
- ・ 図中緑色表記の箇所は平成 21 年度に工事を予定している箇所である。
- ・ 谷地川の整備事業については 10.68km の都市計画決定がされており、昭和 46 年から平成 10 年にかけて事業認可を取得し、多摩川の合流点から順次整備事業を続けてきた。
- ・ 今年度は更に上流の落合橋までの区間約 600m について新たな事業認可の取得を目指し

ている。

- ・『谷地川整備工事(その 42)』は八王子市丹木町 3 丁目で城山下橋の下流側、図中赤色表記の施工延長 140m の護岸工を予定しており、明王下橋の付替え工事も予定している。
- ・護岸形状としては隠し護岸に覆土をして緩傾斜護岸にし、親水性を持たせる予定である。
- ・図中黒色表記の箇所は平成 19 年度の施工箇所であるが、現在も繰越し工事として施工が続いており、6 月中には完成させる予定である。
- ・『谷地川整備工事(その 43)』は八王子市加住町地内、図中赤色表記の施工延長約 250m で両岸に護岸を整備する予定であり、5 m 幅の新橋を敷設する予定である。
- ・この地点については一部用地の取得が出来ていない箇所があり、施工範囲については若干変更する可能性がある。
- ・『湯殿川整備工事(その 34)』は八王子市舘町地内、図中赤色表記の施工延長約 230m で下流側が 50m , 上流側が 180m である。橋梁として明神橋 , 西明神橋の 2 橋を予定している。
- ・『御霊大明神』の川が湾曲している箇所には親水護岸を整備し、神社の緑と一体となるようなイメージを考えている。
- ・湯殿川は 8.78km の都市計画決定がされており、浅川との合流点から地蔵橋までの 7.82km の区間が事業認可されている。
- ・地蔵橋から上流側については改めて今年度の事業認可取得を目指している。
- ・『山入川河川防災工事予定箇所』は八王子市美山町地内、図中赤色表記箇所の既存ブロック張り護岸が老朽化してきている為、新たにブロック張り護岸工を行う予定である。
- ・この地点は“水防上注意を要する箇所”として位置付けており、早急な護岸の改修工事が必要と考えている。
- ・『浅川河川防災工事(松枝橋上流)予定箇所』は八王子市川口町地内、図中赤色表記の施工延長約 55m で床固め工を予定している。

座長

この議題について、ご質問やご意見はないでしょうか。

市民委員

まず京浜河川事務所に質問させていただきます。毎年言っていますが、まだ護岸整備をしなければならないのでしょうか。配布資料の『元横山町地区(低水護岸)』は、まだ低水護岸整備という発想がなかった 10 年程前に深く入れる護岸の整備が行われた個所で、その時は「護岸を深く入れるので大丈夫」という説明を受けました。それから 10 年しかたっていないのに再度護岸整備をするのは、その時の説明が間違っていたという事なののでしょうか。既存の護岸で大丈夫なのであれば低水護岸についてはもう少し検証して、早急な整備は行

わないで頂きたいと思います。

次に東京都の工事予定箇所について質問させていただきます。配布資料の写真では緑化ブロックが用いられている様です。緑化ブロックは普通のブロックよりは良いと思いますが、それよりも護岸を覆土して自然に植物が生えてくる方が良いと考えています。今年度の工事ではどの様なもの(資材)がどのような基準で用いられるのかを教えてくださいたいと思います。

行政委員・代理

現在浅川では“水衝部対策”として工事を進めさせて頂いている現状があります。浅川の特徴である急流で蛇行している箇所について、河岸が浸食されないように京浜河川事務所では工事を行っております。

私も八王子在住者でありますので、澗筋の変化や工事の状況等については把握しております。実際昨年台風9号では水当たりの強い箇所では洗掘が起こっており、京浜河川事務所としては地区の方々を守るための堤防が削られてしまう状況を解消するために事業を進めさせて頂いております。広報等については不十分な所もあるかもしれませんが、ご理解頂きたいと考えております。

市民委員

『元横山町地区(低水護岸)』についての回答を頂きたいのですが。

行政委員・代理

京浜河川事務所としてもそういった状況を鑑み、『元横山町地区(低水護岸)』と同様の護岸構造であった八王子中央郵便局近辺の護岸についても、低水護岸を整備した方が構造的に優位であるという判断から平成16年度に護岸整備を行わせて頂きました。

水衝部対策の考え方についてこの場で変更するという訳にもいきませんので、是非とも御理解頂きたいと思います。

市民委員

10年前の護岸整備は“失敗”だったと捉えてよいのでしょうか。

行政委員・代理

“失敗”という表現が適切であるかは判らないのですが、見直しをしているのかという事であれば構造を変えているのは事実であります。

市民委員

見直しをした根拠は何なのでしょう。構造等の理論的な事だけに基づくのでしょうか、それとも実際に同様に整備した護岸が崩壊してしまった事例等があるのでしょうか。

行政委員・代理

その点につきましては、一旦京浜河川事務所に持ち帰って改めてご回答させて頂きたいと思っております。

事務局

東京都の護岸整備で谷地川と湯殿川で護岸ブロックのタイプが違うという質問でありましたが、現在どの様なブロックが用いられているかの説明をさせていただきます。

配布資料の『谷地川整備工事(その24)』『谷地川整備工事(その42)』『谷地川整備工事(その43)』の図中黒色表記の施工済み護岸につきましては緑化ブロックを用いていましたが、「水位が上昇した際に土砂が噴出する」「土が抜けた所に水が溜まってしまう」等の苦情が出た事、及び護岸上部の植栽管理が非常に困難である事から、今年度施工からは湯殿川の護岸施工と同様の植栽の出来ない化粧ブロックを用いる予定であります。この化粧ブロックは配布資料の『湯殿川整備工事(その34)』の写真で確認して頂けると思っております。なお、湯殿川の護岸整備では以前よりこのタイプの化粧ブロックを用いてきております。

市民委員

苦情が出ているのは解りましたが、それでも構造的に特に問題がないのであれば水衝部には硬いものよりも少しでも柔らかいものを張り付けた方が良いので、緑化ブロックを使って頂きたいと考えます。

周辺住民とは話し合いの場を持っても構わないと考えています。

事務局

敷地に余裕がある整備箇所につきましては、親水護岸の整備等を行っていきたく考えております。

市民委員

私は湯殿川で用いられている化粧ブロックは、背後の景色との調和もとれていて美観的にも良いデザインだと思います。

市民委員

(化粧ブロックは)型押しブロックであり、見かけだけですので、私は良いとは思いません。

行政委員・事務局

なるべく自然に近い形の化粧ブロックを用いていきたく考えております。

座長

他にご意見のある委員はいないでしょうか。

市民委員

まず、東京都の河川工事は早く水を流すための構造にしているとしか思えません。この間、国土交通省と浅川のこれからについて話し合った際に、浅川に降った雨はほとんど時間差がなく流れ出てしまうという説明を受けました。このような河川整備では川に掛かる負荷を大きくするだけだと思います。遊水地や雑木林を整備する事で、川への負荷を減らす方が効果的なのではないでしょうか。

国土交通省の河川整備につきましては、低水護岸を整備してしまうと澁筋が固定されてしまい、個性のない、生物にとっても棲みづらい川になってしまうと思われます。また、水衝部に固い物を張り付ければその分水の跳ね返りも大きくなり、対岸の護岸にも影響が出てくるのは明白であります。その辺の対策は何か考えていますでしょうか。

行政委員・代理

八王子市は昭和 30 年代から市街化が著しく進んでおりまして、谷地川や湯殿川の流域に於いても建物が建ち並び、雨が降っても地面に吸収されずに川に流れてしまう状況です。

河川整備計画に於いても流出係数を 0.8、つまり降った雨の内 80%が川に流れてしまうという前提で計画を立案しております。“50mm の雨”これは約 3 年に 1 回の確率で降る雨なのですが、この降雨が安全に流せる形で整備計画を行っております。

市街化の現状に合わせて河川の整備を行う事を前提としておりますので、今の状況だとこの様な整備が必要になってくるという事です。

行政委員・代理

『防護対策プロジェクト』に基づいて約 10m幅の低水護岸を敷設させて頂き、護岸自体の浸食を防ぐ事を目的に整備を行わせて頂いております。

浅川の場合は、低水護岸を敷設した事によって完全に澁筋が固定されてしまったとは考えておりません。

流水がきちんと流れるよう面積等を考慮しながら整備をさせて頂いておりますので、整備を行った事で対岸に影響が出ないようにさせて頂いております。

市民委員：代理

高幡橋の周辺は低水護岸もなく、法面に木が生え、また堤防上に都道が通り、堤防の高さも低く、京浜河川事務所管轄の浅川では最も弱い所だと思っておりますが、今年度もその工事が入っていないのですが、それはどうしてなのでしょう。

行政委員・代理

確かに高幡橋の上下流は川幅が非常に狭い所であり、今頂いたご意見は非常に貴重でありますので、京浜河川事務所に持ちかえり検討させて頂きたいと思います。

市民委員

以前魚類調査をしている方より、高水敷部分に敷設されているカゴマットが魚類には非常に危険であると聞いたことがあります。洪水等があると特に小魚は流れの遅い岸辺を泳ぐので、水が引いてくると魚がカゴマット内から逃げられなくなってしまい、干物になっている小魚を良く見かけます。

現在のような護岸対策を上流から下流までされてしまうと、生物の生息環境としては非常に辛い所があります。水衝部対策と生態系への配慮についてどの様に考えているのかお聞きしたいと思います。「治水優先」と言われてしまえば身も蓋もない話ですが、それを話し合う為の会議だと考えております。

もう1点、中央高速道路の浅川橋付近で床固め工を行った箇所に落差工のような段差が出来てしまっていました。これは河川整備を行った結果、より危険が増してしまったのではないかと考えられるのですが、どのようにお考えでしょうか。また、中央高速下の復旧については考えていないのでしょうか。

行政委員・事務局

私も現地は確認しております。あの辺りは非常に河床の洗堀が進んでいたため、中央高速道路の橋脚を保護する目的で洗堀対策の床固め工を実施したのですが、床固めの下流側で非常に洗堀が進んでしまったという経緯がございます。

今年度床固め工を予定している地点も、ここ何年かで洗堀が著しく進行し、場所によっては4m近くも洗堀されてしまった為、その対策として平成18年度から床固め工を行っていますが、検証については十分に行っていきたいと考えております。

行政委員・代理

カゴマットの魚への影響について、私自身が確認しきれておりませんので、生物調査を行っている部署に確認し、まずは認識したいと思っております。

この場で護岸構造の変更について発言する事は非常に難しいので、近年の整備状況についてご説明させて頂きますと、カゴマットの中に現場で発生した大きなガラを入れ、カゴマットが浮かないようにすると共にカゴマットの中に空隙を確保するようにしています。また、カゴマットに覆土をしてカゴマットが露出しないような対策も行っております。

確かに、治水は大事であると考えておりますが、河川法の中にも『環境』というキーワードが入った様に、河川整備計画を策定する際には環境にも配慮させて頂いております。

市民委員

河川整備に於いて『治水』と『環境』を両立させるための1つの提案ではありますが、先程説明して頂いた今年度の整備計画でも、川が曲がって膨らんでいる箇所は全て『親水護岸』という事で陸地として利用される様でありました。そうではなく、こういった場所で川幅を広げ、自然に澗筋が変化したり、よどみが出来たりという場所を1河川で1箇所でも構わないので作って頂きたいと思います。

行政委員・事務局

ある程度自然の力に任せた維持管理が出来るような護岸整備を考えていきたいと思いません。

市民委員

八王子市の下水道が100%に達したという話がありましたが、その水はどこに流れているのでしょうか。先程の東京都の説明で浅川及びその支川流域に降った雨の80%が川に流れ込むという風に理解したのですが。

行政委員

八王子市の下水道が100%に達したというのは汚水についてであり、雨水は一部地域(北野旧市街地)以外は汚水とは別に処理しております。

行政委員・代理

東京都で管理している河川は中小河川という位置付けで、多摩川等の大河川とは違い、河道が掘り込み式になっていて高水面が家屋より低い位置で流れています。現在東京都では50mmの雨が流域全体に降った際に、その雨量が河川から溢れる事なく流れる様に中小河川の整備を行っております。

市民委員

東京都の南西建管内の河川が全てそうだという事でしょうか。

行政委員・事務局

まだ全ての河川がそうになってはいませんが、現在で約6割の整備が終わっております。

市民委員

では、極所的に集中豪雨があった際には溢れる事もあり得るのでしょうか。

行政委員・代理

能力以上の降雨があれば溢れる事はあると想定されますが、掘り込み式の河道でありますので、堤防の決壊の様に甚大な被害が出るようなことはありません。

座長

他にご意見のある委員はいないでしょうか。

市民委員

京浜河川事務所にお聞きしたいのですが、高水護岸の整備は以前から法枠工で行っていたようですが、低水護岸も最近は法枠工で整備されていたという認識がありました。しかし、今回の配布資料を見る限りでは違うようですが、整備方法の変更があったという事でしょうか。

行政委員・代理

護岸整備の際にはその地域に合った最良のものを選択している為、ブロック等が施工箇所毎に違うという事はあり得ますが、基本的に低水護岸の構造は水当りをした際にも崩れない構造という事ですので、その考え方は変わっておりません。

座長

他にご意見のある委員はいないでしょうか。

行政委員

先程、高幡橋の左岸の堤防が弱いのではという指摘がありましたが、私の知っている範囲では国土交通省もそれについては認識している様です。東京都の道路部局と京浜河川事務所と日野市で来週位から協議していく事になっております。

また、京浜河川事務所からの配布資料で の工事予定箇所が抜けていた件ですが、私共の認識では平山橋上流左岸の護岸整備で、施工延長は50m程度と聞いております。

座長

本日出た意見の中で私が重要であると考え、是非議事録に残して頂きたいのは、『検証』という言葉も出た様に色々な事例や情報をこの会議で公表して頂ければ、議論ももっと進展すると思いますので、よろしく申し上げます。

(2)今後の浅川流域連絡会スケジュールについて

事務局

- 配付資料：『浅川流域連絡会スケジュール(案)』の内容説明 -

- ・第1回流域連絡会ではフィールドワークについて3回実施予定と説明したが、予定していた『第1回フィールドワーク』の実施時期がお盆と重なるため9月上旬の開催とさせて頂き、回数についても3回から2回に変更させて頂きたいと考えている。
- ・『第1回フィールドワーク』のテーマは“緩傾斜護岸など親水空間と良好な自然環境の保全、水際植生の創出に配慮した河川”とし、八王子市及び日野市を流れる浅川と谷地川を見て頂きたいと考えている。
- ・『第2回フィールドワーク』は11月中旬の実施を考えており、テーマは“生物往来機能を確保するため配慮した河川”とし、八王子市を流れる湯殿川に於いて魚道やカワセミの営巣等について見て頂きたいと考えている。
- ・『第3回浅川流域連絡会』は今まで議論されてきた内容やフィールドワークの結果を踏まえ、平成21年2月の開催を予定している。
- ・『第1回フィールドワーク』については国土交通省と調整中であるが、浅川を視察した後、谷地川の道の駅から上流を視察して頂きたいと考えている。

市民委員

河川愛護月間の『南浅川を歩こう』について説明して頂けますでしょうか。

事務局

資料を用意していないのですが、7月5日に開催し、高尾山口駅に13時に集合して頂き、そこから南浅川を下ってくるルートを予定しております。解散はJR高尾駅を考えております。時間は約2時間半から3時間程度となると思います。今現在27名の方の応募を確認しています。

市民委員

確かに南浅川はきれいな河川であり、歩くのには良いかもしれないが、もっと市街地を流れる川にも注目して貰い、浅川をきれいにするという意欲を高めるようにして頂きたいと思います。

座長

他にご意見のある委員はいないでしょうか。

市民委員

例えば南浅川について、水質が良いとか景観が良いとかいう話しは出ていますが、私は水量が少ないという事が一番の問題なのではないかと考えています。フィールドワークが9月と11月に予定されていますが、それよりも1月や2月の湧水期にフィールドワークを行う事は出来ないのでしょうか。

次に、前回の流域連絡会では今日の様な会議形式の連絡会を4回実施するという事ではなかったかと記憶しているのですが、3回で終わりなののでしょうか。人それぞれだとは思いますが、私などはフィールドワークよりもこういった話し合いの場の方が重要だと感じられるのですが。

行政委員・事務局

水量については、平成21年2月の『第3回浅川流域連絡会』に於いてテーマにするのも1つの案ではないかと考えています。

市民委員

この連絡会は流域も含めて対象になっていると認識しています。この2回のフィールドワークで見られる箇所は限られてくるとは思いますが、そういった視点でも見る場所を検討し、なるべく多くの情報を得られるようにして頂きたいと希望します。

市民委員

この流域連絡会が始まってから私が少し寂しく思っていることは、“総合的治水”の話が出てこないことです。河川整備の話しに終始しているので20年前、30年前に戻ってしまった様な感じがしてしまいます。

事務局をお願いしたいのですが、フィールドワークの際、特に『第2回フィールドワーク』の際には“総合的治水”の観点から視察先を検討して頂きたい。また、ここで出された意見を参考にしてフィールドワークの検討を行って頂くことを希望します。

市民委員

フィールドワークをした結果を話し合う場として、平成21年2月の連絡会があるのは良いと思いますが、このスケジュールでは我々の話し合いが来年度の工事にどの様に反映される事になるのかを知る場が設けられていません。工事計画書とまではいなくても、来年度の工事にどの様に反映されることになったのかを伝えて頂く為の会議をもう1回設けて頂けないでしょうか。

行政委員・事務局

今回工事の内容を説明させて頂き、それに対して色々な意見を頂きました。その意見が

実際の工事の中でどの様に活かされたかの検証については、平成 21 年 2 月の『第 3 回浅川流域連絡会』でお示ししていきたいと考えております。

市民委員

今日出た意見が今年度の工事に反映されるのは望ましいのですが、私はやはりそれは難しいのではと考えています。それよりも今日の意見が来年度の工事計画の中に、どの様に反映されるのかについて説明して頂く場がほしいと考えています。

行政委員・事務局

今のご意見に関しましては、この流域連絡会は今後も長く続いていく会議でありますので、まだ日程は決まっていますが来年度の『第 4 回浅川流域連絡会』で議題にしていきたいと思えます。

市民委員

水量について議論していくのであれば、農林の関係部署の方々にも出席して頂いて、山の管理等も含め総合的話し合う必要があると考えるのですが。

座長

場合によってはそういった方々にご出席して頂く事もあるのだらうと思えます。

『第 1 回フィールドワーク』に関しては事務局にお任せして、『第 2 回フィールドワーク』では“総合的治水”等委員の方々の意見を反映して行程を立てて頂きたいと思えます。

また、来年 2 月の『第 3 回浅川流域連絡会』については、話し合うべきことが多そうなので時間を長くする等の対応が必要になってくると考えています。

(3)その他

座長

全ての議題が終了しましたが、『(3)その他』として何かありますか。

行政委員

今年度の工事予定箇所については、事前に連絡を頂いていなかった為、本日はご説明出来ませんでした。

また、お配りした資料に何点かお知らせする事項がございます。

- 配付資料：『日野宿通り周辺再生・整備ゾーン図』の内容説明 -

- ・甲州街道に並行して日野宿通りという通りがあるのだが、道の真ん中に歩道が通っていてその下に用水が流れている構造であったのだが、用水を覆っていた歩道部分を取り除いて再整備を行う予定である。

これは終了した事業ですが、国土交通省に占用許可を頂き、地元と八王子市の協力の下、JR浅川鉄橋の真下を遊歩道として整備しました。

- 配付資料：新聞記事の内容説明 -

- ・日野用水，湧水等を市民と協力して維持・管理してきた取り組みが『第10回日本水大賞』で奨励賞を頂いた。

- 配付資料：『日野市洪水ハザードマップ』の内容説明 -

- ・日野市のハザードマップについては、国土交通省が作成した浸水予想を反映して作成されており、今回東京都が作成した『浸水予想区域図』は反映されていない。
- ・日野市では小学校の学区単位で、このハザードマップの説明会と防災訓練を兼ねた催しを開催している。

座長

他に何かありますでしょうか。

市民委員

今週の土曜日 10時からに宮川橋湧水の植生調査を浅川市民フォーラムで行いますので、時間のある方はぜひ参加して頂きたいと思います。

9月27日(土)10時から浅川のウォッチングを実施します。前回は5月に長縄橋から下流部分のウォッチングを行いました。“浅川をアユの遡上出来る川にする”を目標に取り組んでいるのですが、日野市を流れている箇所に関しては、いつアユが遡上してきてもおかしくないように感じられました。

行政委員

- 配付資料：『浅川流域連絡会』の内容説明 -

- ・配布資料は新たに開設予定の当連絡会ホームページのイメージである。
- ・本日も確認頂いた『第1回浅川流域連絡会』の議事録をホームページにアップさせて頂く。

座長

次回の開催予定について事務局よりお願いします。

事務局

『第1回フィールドワーク』の開催について9月の第1週の平日を考えています。開催日については委員の皆さんに決めて頂きたいと思います。

座長

では、9月4日(木),5日(金)を候補日として、開催日が決まったら事務局より各委員に連絡して頂くという事にしたいと思います。